

2015年度 フローラン エオー客員教授 クラリネット 特別講義

1. 日 時 : 2015年 12月 19日(土)13時30分～16時45分
2. 場 所 : O号館 202教室
3. 対象学生【必修】 : クラリネット専攻・コース生 他聴講不可
4. 講師紹介 : フローラン エオー客員教授 Florent Héau

フランス国立リュエイユ＝マルメゾン音楽院教授、大阪音楽大学客員教授。

フランスの伝統的なクラリネット教育<エコール・フランセーズ>を世界中に伝えるべく、教育活動と演奏活動を熱心に行う、優れたフランス流派クラリネット奏者の一人。

クラリネットを幼少期よりミッシェル・アリニョン氏のもとで学び、1991年、フランス国立パリ高等音楽院を1等賞で卒業。同年、トゥーロン国際クラリネットコンクールでも見事1位を獲得。

また、ピアニストのパトリック・ジグマノフスキーと結成したデュオ「エオー&ジグマノフスキー」で、1994年パリ国際室内楽コンクール1位、1995年 FUNAPEC 国際コンクール1位を獲得。

ミッシェル・アリニョン氏のアシスタント教授として、パリ国立高等音楽院で5年間教鞭を執り、その指導力が評価されヨーロッパ各国やラテンアメリカ、アジアのマスタークラスに定期的に招聘されている。

室内楽の演奏活動には精力的に取り組み、R.カピュソン、G.コセ、H.ドゥマルケット、A.ガスティネル、M.ベロフらと共演するほか、ソリストとしては、ヨーロッパ・カメラータ、パリ室内管弦楽団、ブルターニュ管弦楽団、ポーランド放送室内合奏団、プラハ室内管弦楽団等と共演。また、T.エスケシュや F.エルサンの現代音楽の作品も初演している。また独自の活動としては、クラリネットアンサンブルの音楽劇団<Les Bons Becs レ・ボン・ベック>を1996年に設立し、クラリネットの可能性に激動を与えた。クラリネット四重奏にパーカッションを加え、舞台ではタップダンスや踊りをしながら演奏が披露され、その評価は高く、現在2作目の公演が世界中で行われている。

5. 講 義 概 要 :

吉田 由希乃 (大3)	ドゥビュッシー	第一狂詩曲
眞崎 美紗登 (大4)	ヴィドール	序奏とロンド
今村 木の实 (大4)	コーブランド	クラリネット協奏曲
若 あづさ (大4)	モーツァルト	クラリネット協奏曲